



平成 26 年 3 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社イエローハット
代 表 者 名 代表取締役社長 堀江 康生
(コード番号 9 8 8 2 東証第一部)
問 合 せ 先 経理部長 岡田 孝二
(T e l : 0 3 - 5 6 9 5 - 1 6 0 2)

簡易株式交換による株式会社ウィルの完全子会社化に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社、株式会社ウィル（以下「ウィル」といいます。）を株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」といいます。）を実施することを決議し、本日、株式交換契約（以下「本株式交換契約」といいます。）を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本株式交換の効力発生日は、平成 26 年 5 月 1 日を予定しております。

また、本株式交換は、平成 26 年 3 月 19 日開催予定のウィルの臨時株主総会の決議による承認を受けた上で実施する予定です。当社は会社法第 796 条第 3 項の規定に基づき、簡易株式交換の手続きにより株主総会の決議による承認を受けずに本株式交換を行う予定です。

記

1. 本株式交換の目的

当社グループは、国内外でカー&バイク用品・部品の販売と取り付けを中心とした店舗網を展開する企業グループです。「関わる人すべての幸せ」を第一とする創業精神のもとで、地域に密着したお店づくりと、“あなたの道で あなたの街で お役に立ちます イエローハット!”をキャッチフレーズに全国のお客様へのカー&バイクライフサービスを展開し、平成 26 年 2 月末現在、国内の店舗数は、イエローハット 575 店舗、モンテカルロ 11 店舗、2りんかん 40 店舗の合計 626 店舗となりました。お客さまのカー&バイクライフにおける全てのサポートをお任せいただけるよう、ニーズにあわせた店舗業態の展開と豊富な品揃えや、最新鋭の機器と安心の技術で応えるピットサービスを実践することで、ご来店いただいたお客さまに信頼と安心をご提供できる店舗づくりを目指しております。当社グループでは、現在二輪事業の強化を重点計画の一つとして位置づけており、販売拡大に取り組んでおります。

一方、ウィルは関東圏を中心に“バイカーズステーション SOX”の店舗名で二輪車両販売事業を運営しており、平成 26 年 2 月末現在、25 店舗を展開しております。国産車、外国車、新車、中古車等幅広い商品を取扱い、6,000 台の在庫を保有しております。世界各国から直接商品を仕入れる事で可能となるローコストでの調達や国内販売のない商品の取扱いにより、他社との差別化を図っており、「より良い品質」と「豊富な品揃え」と「充実したサービス」によりお客さまに支持され、業容を拡大して参りました。

このような状況の中、イエローハットとウィルは、ウィルをイエローハットの完全子会社とし、ウィルにイエローハットの有する店舗開発力・資金力を導入、イエローハットの完全子会社でバイク用品の販売を行っている株式会社ドライバーズスタンドとの共同出店・業務提携をすすめることが、相互の事業拡大及び競争力の強化につながるのと考え方で一致し、本件取引を行うことを決議いたしました。

2. 本株式交換の要旨

(1) 本株式交換の日程

取締役会決議日（両社）	平成 26 年 3 月 3 日
本株式交換契約締結日（両社）	平成 26 年 3 月 3 日
臨時株主総会開催日（ウィル）	平成 26 年 3 月 19 日（予定）
本株式交換の効力発生日	平成 26 年 5 月 1 日（予定）

(注 1) 当社は会社法第 796 条第 3 項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより、株主総会の決議による承認を受けずに本株式交換を行う予定です。

(注 2) 上記日程は、両社の合意により変更されることがあります。

(注 3) ウィルは、平成 26 年 4 月 7 日を効力発生日として、ウィルの完全親会社である株式会社ウィルホールディングス（以下「ウィルホールディングス」といいます。）を消滅会社、ウィルを存続会社とする吸収合併（以下「本吸収合併」といいます。）を行う予定です。

(2) 本株式交換の方式

当社を株式交換完全親会社、ウィルを株式交換完全子会社とする株式交換となります。当社は、会社法第 796 条第 3 項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより、株主総会の決議による承認を受けずに本株式交換を行う予定です。ウィルは、本株式交換について平成 26 年 3 月 19 日に開催予定のウィルの臨時株主総会において決議による承認を受けた上で、本株式交換を行う予定です。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

会社名	イエローハット (株式交換完全親会社)	ウィル (株式交換完全子会社)
株式交換比率	1	769
株式交換により交付する株式数	461,400	—

(注 1) 株式交換比率

ウィルの普通株式 1 株に対して、当社の普通株式 769 株を割当て交付いたします。

(注 2) 本株式交換により交付する株式数

当社は、本株式交換に際して、本株式交換が効力を生ずる時点の直前時（以下「基準時」といいます。）のウィルの株主の皆様に対し、その有するウィルの普通株式の数の合計に 769 を乗じて得た数の当社の普通株式を割当て交付いたしますが、交付する株式は保有する自己株式（平成 26 年 1 月 31 日現在 2,278,635 株）を充当する予定であり、新株式の発行は行わない予定です。

(注 3) 単元未満株式の取扱い

本株式交換に伴い、当社の 1 単元（100 株）未満株式を保有することとなるウィルの株主の皆様については、当社株式に関する以下の制度をご利用いただくことができます。なお、金融商品取引所市場において単元未満株式を売却することはできません。

単元未満株式の買取制度（単元未満株式の売却）

当社の単元未満株式を保有する株主の皆様が、その保有する単元未満株式を当社に対して買い取ることを請求することができる制度です。

(注4) 1株に満たない端数の処理

本株式交換に伴い、当社の普通株式1株に満たない端数の割当交付を受けることとなるウィルの現株主の皆様に対しては、会社法第234条その他の関連法令の定めに従い、当社が1株に満たない端数部分に応じた金額をお支払いいたします。

(4) 本株式交換の条件等

ウィルは、上記のとおり、平成26年4月7日を効力発生日として、ウィルホールディングスを消滅会社、ウィルを存続会社とする本吸収合併を行うことを予定しており、本株式交換は、本吸収合併の効力が生じることを条件として行われます。

(5) 本株式交換に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

ウィルは、新株予約権及び新株予約権付社債のいずれも発行していません。

3. 本株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

(1) 算定の基礎

当社は、本株式交換の公正性・妥当性を確保する観点から、両社から独立した第三者算定機関に株式交換比率の算定を依頼することとし、ベネディ・コンサルティング株式会社（以下「ベネディ・コンサルティング」といいます。）を株式交換比率の算定に関する第三者機関として選定いたしました。

(第三者算定機関による算定の要旨)

(ベネディ・コンサルティング)

ベネディ・コンサルティングは、イエローハットについては、同社普通株式が東京証券取引所市場第一部に上場しており市場株価が存在することから市場株価基準方式により算定を行い、ウィルについては、非上場会社であることを勘案し、収益還元方式及び類似会社比準方式による算定を行いました。

ベネディ・コンサルティングが各評価手法に基づき算出したイエローハット株式の1株当たりの株式価値を1とした場合の株式交換比率の評価レンジは、以下のとおりです。

採用手法	株式交換比率の評価レンジ
収益還元方式	769 ~ 1,031
類似会社比較方式	675 ~ 720

なお、ベネディ・コンサルティングは、市場株価基準方式による算定においては、平成26年2月28日を基準日として、最近におけるイエローハットの株式の市場取引状況を勘案のうえ、算定基準日から遡る1ヶ月間、3ヶ月間及び6ヶ月間の株価終値平均を採用いたしました。

ベネディ・コンサルティングは、上記株式交換比率の算定に際し、イエローハット及びウィルから提供を受けた情報（両社以外の第三者によって作成された資料を含みます。）及び一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用し、それらの資料及び情報等が全て正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っておりません（独自にその検証を行う責任も義務も負っておりません。）。また、イエローハット及びウィルとそれらの関係会社の資産及び負債（簿外資産及び負債、その他偶発債務を含みます。）について、独自に評価、

鑑定並びに査定は行っておらず、第三者機関への鑑定及び査定の依頼も行っておりません。加えて、ウィルの財務予測については、将来の財務状況に関する現時点で得られる最善の予測及び判断に基づき、ウィルの経営陣により合理的に作成されたことを前提としております。ベネディ・コンサルティングの算定結果は、平成 26 年 2 月 28 日現在までの情報等を反映したものであります。

なお、ベネディ・コンサルティングが提出した株式交換比率の算定結果は、本株式交換における株式交換比率の公正性について意見を表明するものではありません。

(2) 算定の経緯

当社はベネディ・コンサルティングから提出を受けた株式交換比率の算定結果を参考に、ウィルと慎重に交渉・協議を重ねました。その結果、当社及びウィルは、本株式交換比率は妥当であり、それぞれの株主の皆様のご利益を損ねるものではないとの判断に至ったため、本株式交換比率により本株式交換を行うことにつき、本日開催された当社及びウィルの取締役会の決議に基づき、両社間で本株式交換契約を締結いたしました。なお、本株式交換比率は、本株式交換契約に従い、算定の基礎となる諸条件に重大な変更が生じた場合には、両社間で協議の上変更することがあります。

(3) 算定機関との関係

当社の第三者算定機関であるベネディ・コンサルティングは、当社及びウィルからは独立した算定機関であり、関連当事者には該当せず、本株式交換に関して記載すべき重要な利害関係を有しません。

(4) 公正性を担保するための措置

当社は本株式交換における本株式交換比率の公正性・妥当性を確保するため、上記 3. (1) でご説明いたしましたとおり、独立した第三者算定機関に株式交換比率の算定を依頼することとし、その算定結果の提出を受けました。当社はかかる算定結果を参考として、検討・交渉・協議を行い、その結果合意された株式交換比率により本株式交換を行うことといたしました。なお、当社は、第三者算定機関より本株式交換比率が当社にとって財務的見地から妥当である旨の意見書（フェアネス・オピニオン）を取得しておりません。

(5) 利益相反を回避するための措置

当社及びウィルの取締役又は監査役には、それぞれの取締役、監査役又は従業員を兼務する者は存在しません。

4. 本株式交換の当事者の概要

	株式交換完全親会社 (平成 25 年 9 月 30 日現在)	株式交換完全子会社 (平成 25 年 10 月 31 日現在)
(1) 名称	株式会社イエローハット	株式会社ウィル
(2) 所在地	東京都中央区日本橋馬喰町一丁目 4 番 16 号	埼玉県川口市末広三丁目 7 番 14 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 堀江 康生	代表取締役 佐藤 隆一
(4) 事業内容	国内自動車用品の小売及び卸売	オートバイ及び関連商品の販売・修理・輸出入業務、不動産の管理
(5) 資本金	15,072 百万円	30 百万円

(6) 設 立 年 月 日	昭和 37 年 3 月 15 日	平成 3 年 1 月 11 日																								
(7) 発 行 済 株 式 数	24,961,573 株	600 株																								
(8) 決 算 期	3 月 31 日	10 月 31 日																								
(9) 従 業 員 数	(連結) 1,980 名	138 名																								
(10) 主 要 取 引 先	国内の企業及び一般消費者等	一般消費者																								
(11) 主 要 取 引 銀 行	株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社三井住友信託銀行	株式会社三井住友銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社埼玉りそな銀行																								
(12) 大 株 主 及 び 持 分 比 率	有限会社幸栄企画 13.0% 出光興産株式会社 5.0% イエローハット共和会 4.6% ザ チェース マンハッタン バンク 2.8% エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント イエローハット共栄会 2.6% 日本マスタートラスト信託銀行 2.1% 株式会社(信託口) 株式会社三菱東京UFJ銀行 2.0% 日本トラスティ・サービス信託銀行 1.7% 株式会社(信託口) 鍵山 幸一郎 1.6% 富士火災海上保険株式会社 1.4%	株式会社ウィルホールディングス 100.0%																								
(13) 当事会社間の関係	<table border="1"> <tr> <td>資 本 関 係</td> <td>イエローハットとウィルとの間には記載すべき資本関係はありません。また、イエローハットの関係者及び関係会社とウィルの関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。</td> </tr> <tr> <td>人 的 関 係</td> <td>イエローハットとウィルとの間には記載すべき人的関係はありません。また、イエローハットの関係者及び関係会社とウィルの関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。</td> </tr> <tr> <td>取 引 関 係</td> <td>イエローハットからウィルに対し、店舗用建物の賃貸を行っております。</td> </tr> </table>		資 本 関 係	イエローハットとウィルとの間には記載すべき資本関係はありません。また、イエローハットの関係者及び関係会社とウィルの関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。	人 的 関 係	イエローハットとウィルとの間には記載すべき人的関係はありません。また、イエローハットの関係者及び関係会社とウィルの関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。	取 引 関 係	イエローハットからウィルに対し、店舗用建物の賃貸を行っております。																		
資 本 関 係	イエローハットとウィルとの間には記載すべき資本関係はありません。また、イエローハットの関係者及び関係会社とウィルの関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。																									
人 的 関 係	イエローハットとウィルとの間には記載すべき人的関係はありません。また、イエローハットの関係者及び関係会社とウィルの関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。																									
取 引 関 係	イエローハットからウィルに対し、店舗用建物の賃貸を行っております。																									
(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">決 算 期</th> <th colspan="3">(株)イエローハット (連結)</th> <th colspan="3">(株)ウィル</th> </tr> <tr> <th>平成 23 年 3 月期</th> <th>平成 24 年 3 月期</th> <th>平成 25 年 3 月期</th> <th>平成 23 年 10 月期</th> <th>平成 24 年 10 月期</th> <th>平成 25 年 10 月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>純 資 産</td> <td>38,072</td> <td>43,249</td> <td>46,950</td> <td>943</td> <td>1,068</td> <td>1,213</td> </tr> </tbody> </table>						決 算 期	(株)イエローハット (連結)			(株)ウィル			平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期	平成 23 年 10 月期	平成 24 年 10 月期	平成 25 年 10 月期	純 資 産	38,072	43,249	46,950	943	1,068	1,213
決 算 期	(株)イエローハット (連結)			(株)ウィル																						
	平成 23 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期	平成 23 年 10 月期	平成 24 年 10 月期	平成 25 年 10 月期																				
純 資 産	38,072	43,249	46,950	943	1,068	1,213																				

総 資 産	74,223	79,987	82,122	3,899	4,162	4,363
1 株 当 たり 純資産 (円)	1,589.96	1,787.51	2,068.77	1,572,567.09	1,781,144.97	2,022,596.09
売 上 高	95,178	103,110	117,482	6,451	6,555	7,299
営 業 利 益	4,700	6,238	7,076	252	251	307
経 常 利 益	5,191	7,188	8,148	315	212	282
当 期 純 利 益	2,910	5,244	6,060	82	125	183
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	120.31	218.81	260.48	137,447.87	208,577.88	306,451.12
1 株 当 たり 配 当 金 (円)	18.00	24.00	32.00	—	—	65,000

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

注)・ウィルは、平成 26 年 2 月 20 日を効力発生日として、ウィルを分割会社、株式会社エスエートラスト (以下、「エスエートラスト」といいます。) を設立会社として、ウィルが有する不動産管理事業等に関する権利義務及び有利子負債等をエスエートラストに承継させる新設分割を行っております。

なお、分割した部門の資産合計は、1,296 百万円 (流動資産：71 百万円、固定資産：1,225 百万円)、負債合計は、1,191 百万円 (流動負債：100 百万円、固定負債：1,090 百万円)、売上高は、127 百万円 (平成 25 年 10 月期) であります。

- ・ウィルは、平成 26 年 2 月 24 日を効力発生日として、株式会社ウィルリアルエステイト (以下、「ウィルリアルエステイト」といいます。) に対し、保有する全てのエスエートラスト株式の譲渡を行っております。
- ・ウィルは、平成 26 年 4 月 7 日を効力発生日として、ウィルの完全親会社であるウィルホールディングスを消滅会社、ウィルを存続会社として本吸収合併を行うことを予定しております。本吸収合併により、ウィルの大株主及び持分比率は、佐藤隆一 81.0%、佐藤千代子 19.0%となる予定です。

	ご参考 (平成 25 年 10 月 31 日現在)
(1) 名 称	株式会社ウィルホールディングス
(2) 所 在 地	埼玉県川口市南鳩ヶ谷三丁目 22 番 23 号
(3) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 佐藤 隆一
(4) 事 業 内 容	子会社株式の保有 不動産の管理
(5) 資 本 金	3 百万円
(6) 設 立 年 月 日	平成 19 年 10 月 1 日
(7) 発 行 済 株 式 数	600 株

(8) 決算期	10月31日		
(9) 従業員数	一名		
(10) 主要取引先	—		
(11) 主要取引銀行	株式会社みずほ銀行		
(12) 大株主及び持分比率	佐藤 隆一	81.0%	
	佐藤 千代子	19.0%	
(13) 当事会社間関係			
資本関係	イエローハットとウィルホールディングスとの間には記載すべき資本関係はありません。また、イエローハットの関係者及び関係会社とウィルホールディングスの関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。		
人的関係	イエローハットとウィルホールディングスとの間には記載すべき人的関係はありません。また、イエローハットの関係者及び関係会社とウィルホールディングスの関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。		
取引関係	イエローハットとウィルホールディングスとの間には記載すべき取引関係はありません。なお、イエローハットからウィルホールディングスの完全子会社であるウィルに対し、店舗用建物の賃貸を行っております。		
(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態			
	ウィルホールディングス		
決算期	平成23年 10月期	平成24年 10月期	平成25年 10月期
純資産	596	600	648
総資産	597	601	762
1株当たり純資産(円)	994,962.30	1,000,120.61	1,081,379.72
売上高	—	—	55
営業利益	▲0	▲0	45
経常利益	2	4	53
当期純利益	1	3	48

1株当たり 当期純利益 (円)	2,404.51	5,158.31	81,259.12
1株当たり 配当金(円)	-	-	-

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

5. 本株式交換後の状況(予定)

	株式交換完全親会社
(1) 名称	株式会社イエローハット
(2) 所在地	東京都中央区日本橋馬喰町一丁目4番16号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 堀江 康生
(4) 事業内容	国内自動車用品の小売及び卸売
(5) 資本金	15,072百万円
(6) 決算期	3月31日
(7) 純資産	現時点では確定しておりません。
(8) 総資産	現時点では確定しておりません。

6. 会計処理の概要

本株式交換に伴う会計処理は、企業結合会計基準における「取得」に該当し、当社によるウィルの取得処理となります。なお、本株式交換により発生するのれん(または負ののれん)の金額については、現時点では確定しておりません。

7. 今後の見通し

本株式交換によりウィルは当社の完全子会社となる予定です。なお、本株式交換が当社連結業績に与える影響は軽微です。

以上

(ご参考)

イエローハットの当期連結業績予想(平成25年10月31日公表分)及び前期連結実績

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期業績予想 (平成26年3月期)	118,552	7,755	8,556	5,894
前期実績 (平成25年3月期)	117,482	7,076	8,148	6,060